

広島都市学園大学保護者の会 会 報



第 2 号

発行 広島都市学園大学 保護者の会
発行先 〒734-0014
広島市南区宇品西五丁目 13 番 18 号
TEL 082-250-1133
FAX 082-250-1134

【「こころ」の由来：広島都市学園大学の理念である「心技一体」の1文字からつけています。】

第二回大学祭を開催

(第二回宇品かがやきフェスティバル・大学祭)

—宇品キャンパス—

今年二回目を迎えた大学祭が、地域との合同イベント「第二回宇品かがやきフェスティバル」として、十一月十七日(日)に大学敷地内で盛大に開催されました。

特設ステージでは、午前中に地域の芸能発表が行われ、午後からは大学側のライブ等、夕方までにぎやかに行われました。地域と共同という特異な大学祭ではありますが、学生達が地域の方々とコミュニケーションをとる良い機会になっていると思います。広場で地域の方々がされていた宇品の歴史資料コーナーには、貴重な写真なども多くあり、元宇品の今と昔がわかりやすく展示され、興味深く拝見させていただきました。校舎内では、看護系大学ならではの特色ある展示やコーナーがあり、ハンドマッサージ、高齢者体験、妊婦母親体験などは特に人気があったようでした。

あるコーナーの学生に、少し専門的な質問を試みたのですが、想像以上に的確な回答が返ってきて、「普段からの学習のたまものだな」と、あらためて感心しました。

実行委員長へのインタビュー

当日、実行委員長の木村俊介君(看護学科二年次生)にいろいろ聞いてみましたので、その一問一答を掲載いたします。

Q: 無事、大学祭の開催にこぎつけた今の素直な気持ちはいかがですか？

A: 今回で二回目ですが、昨年より進歩したと思ってもらえるようなイベントにしたいですね。

Q: 準備期間、実行委員会のメンバーは？

A: 実行委員会は半年位前から立ち上げ、大学側から私の他三名と各地域の代表の方十名位で進めてきました。

Q: この大学祭は地域との合同での「フェスティバル」という形で行われていますが、苦労したことなどがあれば教えてください。

A: 学生主導の部分と、地域主導の部分を分けて考えながら、なおかつ、ひとつのイベントとしてまとめ上げるのは大変でした。

Q: パンフレットにも書いてある「地域とのふれあい」について、委員長の想いを聞かせてください。

A: 地域の方達には、開学して間もないこの大学のことを少しでも知ってもらい、学生達には、地域へ溶け込むきっかけにしたらいいと思います。

Q: 来られた方には是非見てほしいことは何ですか？
A: 学内には看護系大学ならではの設備や教材があり、今日



は来学された皆さんにも開放していますので、ぜひ体験してほしいですね。子どもたちには高齢者体験などしてもらおうと、お年寄りの大変さが実感できると思いますよ。

Q: 最後に、この宇品の町についての感想を聞かせてください。

A: 新しい町、大きな町というイメージがありますが、その反面、多くの歴史と文化がある町で、地域の皆さんも「我が町」に誇りをもっておられますね。「宇品検定」というのがありますが、今度僕も挑戦してみようと思います。



「西風キャンパス」での課外活動

健康科学部リハビリテーション学科がある西風キャンパスでの課外活動を紹介します。フットサル、バレーボール、バドミントン、音楽、バスケットボールの計五サークルがありますが、今回は、フットサルサークル、音楽サークルについてその活動内容等を紹介いたします。

フットサルサークル

現在メンバーは二十三名で、活動は週一〜二回夕方六時から八時まで、戦術を含め真剣に活動しています。

本サークルは、キリンフットサルフェスティバル広島大会で何度か優勝していた、学園の姉妹校である広島医療保健専門学校のフットサルの伝統を引き継いでおり、サークルの顧問は、広島医療保健専門学校の卒業生で、在学中に前述のフェスティバルで二回優勝経験がある上川先生です。



音楽サークル

の部)で、一次、二次リーグでの失点はわずかに一点のときもあったようです。良い伝統を受け継いでいってほしいと思います。

週一回夕方六時から八時まで、体育館のステージの隅でゆる〜くやっているようです。八名のメンバー各自が楽器を持ちより、例えばギターの人弾き語りをするなど、好きな活動をしています。将来的にはバンドを組む希望があるようです。

好きなジャンルは、「Pop」、好きなアーティストはコブクロ、ザン・オールスターズ、スキマズ、イチナなど、と聞いています。

「学生は頑張っていますが、現在は全て持ち出しです。可能ならご援助もよろしく願っています。」

「動物慰霊祭」を実施

健康科学部リハビリテーション学科では、生理学実習の授業で動物(ウシガエル)を用いるに当たり、生命教育の一環として、学習のため動物をと殺し使用することの意義、及び留意点(敬意を持ち接すること)等について、初回の授業で講義が行われています。

この度今年度の授業の終了に伴い、使用した動物に感謝を示すとともに、再度、生命に対する姿勢の教育の場として、一月二十七日(月)に本学としては初の試みとなる動物慰霊祭が執り行われました。西風キャンパスで実施された慰霊祭での学科長の挨拶を掲載します。

動物慰霊祭に際して

リハビリテーション学科長 富樫 誠二



動物慰霊祭に際して、生理学実習教育の一環として動物の生命倫理に関するお話をしたいと思います。皆さんが生理学実習で取り扱ったウシガエルは三十六匹であります。その尊い命の上になつて生理学実習はなされました。

そのことは、みなさんの生理学の学びに貢献されたことを確信しています。そうではなく、命を捧げた動物たちはうかばれないと私は思います。私たちの生存を守る医学の発達には動物をつかった実習あるいは実験が必要である

という考えがあり、そのことを踏まえて実習が行なわれています。

がしかし一方では、動物愛護の立場から強く反対する立場もあります。一寸の虫にも五分の魂とも申ししますが、小さな虫にも命があります。かつて恐竜時代においては生きるために弱肉強食があたりまえのように行なわれていました。しかし、時代が経た今日でも、地球上で霊長類の頂点にたつヒトは生きるために他の動物を食しています。人間の生は他の動物の命の上に成り

立っているという側面も直視しなければなりません。これらのことも含めて、動物と人間の関わりやすべての生物の生命(いのち)ということについて、学生の皆さんには是非考えていただきたいテーマだと思います。

さて、人類誕生以来、病気の闘いは絶え間なく続いています。医学はその勝利を偶然や奇跡はなく、科学的根拠に基づいて追求することを求めます。動物を科学上の利用に供することは、生命科学の伸展、医療技術等の開発等のために必要不可欠なものであります。その医学上の利用に当たっては、動物が命あるものであることを鑑み、医学上の利用の目的を達することができる範囲において、できる限り動物を供する方法に代わり得るものを利

用すること、できる限り利用に供される動物の数を少なくすること等により動物の適切な利用に配慮すること、並びに必要な限度において、できる限り動物に苦痛を与えない方法によって行なうことが求められています。これを3Rといいます。

つまり、Replacement(代替)、Reduction(削減)、Refinement(実験精度向上)の頭文字です。これは、一九五九年英国の有名な生物学者Russellによって提唱された人道的動物実験の三原則です。この原則は世界的にも共通の指針として受け入れられ、日本生理学会においてもこれを追求しています。動物の利用において、利用者が動物の福祉を重んじ、倫理的に取り扱うことは当然なことでありま

す。こうした動物に対する一連の行為は動物愛護法、鳥獣保護法、総理府指針、環境省の指導、文部科学省通達に則り、日本生理学会の動物実験指針、各大学等の研究機関が設ける動物実験指針にしたがって実施されます。各研究機関で行なわれる動物実験は、すべて動物実験倫理委員会の審査を受け、承認されることが必要となります。

ちなみに、動物愛護法では、動物は命あるものであることを認識し、みだりに動物を虐待することのないようにするのみでなく、人間と動物が共に生きていける社会を目指し、動物の習性をよく知った上で適正に取り扱うように定めています。動物愛護週間を毎年九月二〇日から二十六日とし、国および地方公共団体ではその趣旨にふさわしい行事を実施しています。罰則規定は、愛護動物をみだりに殺したまたは傷つけた場合は、二年以下の懲役または二〇〇万円以下の罰金に処されます。虐待行為を行なったもの、遺棄したものには一〇〇万円以下の罰金に処されます。

現在、多くの動物の尊い命の代償によって医学の進歩が享受されているのは事実であります。学生のみならず、しっかりとそのことを心に留め、真摯に学問に励んでいただきたいと思っています。最後に、動物慰霊祭開催にあ



たつてご理解をいただきました古澤学長ならびに準備のためにご苦労された牧田准教授に感謝いたします。

【看護研究発表会】が行われました

健康科学部看護学科

健康科学部看護学科四年次生は、これまで学修した知識に基づき、専門領域に係るテーマの中から、学生各々の関心、課題に基づいたテーマを設定し研究してきましたが、その結果をまとめ、十月二十六日（土）に発表会が行われました。学生の実行委員を選び自主的な発表会が行われましたので、学生実行委員の四名にそれぞれ感想を寄せていただきました。その内容を掲載いたします。

なお、この「看護研究」は、研究結果をまとめ、論文を作成し卒業論文として提出するまでの一連の過程を研究すること。具体的には、研究課題を選びその意味付けができること、研究課題を進めるための理論的背景の下に研究計画を立案できること、研究を遂行しその報告ができることが大きな目標となっているものです。



四年次生 尾崎 沙也加

今回、初めての論文作成と発表会を通して、人に伝える難しさ、他の人の発表を見て知識や興味の広がりを感じ取りました。質疑応答の時間は、学生や教員から多くの質問と意見が聞かれ、充実した発表会になったと思います。

実行委員として皆で長い期間発表会のために取り組んできましたが、無事成功し嬉しく思っています。

今後、国家試験に向けて皆で頑張っていきたいです。

学生実行委員の言葉

四年次生 瀬尾 尚美

看護研究発表会では、自己の研究をより深めることによる知識向上、また、その研究を発表することにより、他の意見や質問により自己の視野が広がり、知識を深めていくことができました。

今後看護師になっても、探究心を持ち続け、常に学ぶ姿勢を忘れず（謙虚な姿勢で）取り組みたいです。

四年次生 藤森 隆志

今回、看護研究発表会を通して、学生のような視点や、領域での発表を聞くことができました。また、今回発表を行う上で、明らかにしたことをどうすれば分かりやすく伝えることができるかなど、プレゼンテーションの良い経験となりました。

この経験を今後、臨床で働く上で生かしていきたいと思います。



四年次生 清友 裕美

四月から十月の看護研究発表会が行われるまでの六カ月ちょっとの期間は大変でした。どのように研究を進めていくのか、わからないまま作業をしていかなければならなかったため、不安がいつぱいでした。しかし、チューターの先生の指導や友達のアドバイスや支えがあり、乗り越えることができました。

研究は自分で調べたいこと、興味を持ったことについて調べるため、研究をしていくと新たな発見があり、楽しいと思えることもありました。発表会では、他の学生

【保護者の一言】

娘が今年「看護師になる」その夢を目指し二歳上の姉を追うように本校に入学します。ほんとうに大丈夫か本人以上に心配になっています。まずは、いろいろ先輩の姉に話を聞きやる気十分なようですが、空気がでないよう期待しているところ

です。姉も三年になり実習が増えていく日々が続くようですが、持ち前の元気でこなしていければと思っています。また、お互いに励ましあい同じ目標に向かって、がんばってほしいと思います。

丸山 英治

の発表を聞き、あまり興味なかった領域でも興味を持つことができました。今回の看護研究で学んだことや発表のときに知ることが

できた学びを、就職した時に、自分の看護のなかに活かしていきたいと思いました。

就職情報

平成 26 年 3 月卒業予定者 第 2 期生（看護学科）
就職内定率 100%（平成 26 年 2 月 1 日現在）

エリア	市区町村	病院・施設名	エリア	市区町村	病院・施設名
広島県内	広島市	あかね会（土谷総合病院）	中国	岡山県	川崎大学附属病院
	広島市	五日市記念病院		岡山県	倉敷中央病院
	広島市	共立病院		島根県	島根大学医学部附属病院
	広島市	県立広島病院		山口県	岩国医療センター
	広島市	済生会広島病院	関東	山口県	防府リハビリテーション病院
	広島市	中電病院		東京都	順天堂大学医学部附属順天堂医院
	広島市	原田病院		東京都	東京医科大学八王子医療センター
	広島市	広島記念病院	中部	愛知県	愛知医科大学病院
	広島市	広島市民病院		愛知県	愛知医科大学病院
	広島市	広島大学病院	関西	大阪府	大阪府立病院機構
	広島市	ヒロシマ平松病院		大阪府	近畿大学医学部付属病院
	東広島市	井野口病院		大阪府	住友病院
	東広島市	東広島医療センター		大阪府	東住吉森本病院
	東広島市	広島県福祉事業団	兵庫県	兵庫県	高砂市民病院
	呉市	呉医療センター		兵庫県	西神戸医療センター
	呉市	済生会呉病院	京都府	京都府	京都岩倉病院
	呉市	中国労災病院		京都府	西陣病院
	呉市	ふたば病院	九州	福岡県	筑後市立病院
	廿日市市	JA 広島総合病院		沖縄県	豊見城中央病院
	大竹市	広島西医療センター		沖縄県	琉球大学医学部附属病院
	庄原市	庄原赤十字病院			
	安芸高田市	吉田総合病院			

新学部設置が認可されました

本年度に設置申請中であった子ども教育学部子ども教育学科が、十二月に設置認可されました。そこで、設置申請に尽力されました深澤悦子特任教授（四月から子ども教育学部子ども教育学科教員）に、新設学部・学科の概要や特色等について語って頂きました。教育と医療・ケアを一体化し、具現化する教育者・保育者を養成するための内容、学部・学科の特色、地域に開かれた学部・学科である旨、その内容を掲載しました。



子ども教育学部 子ども教育学科
平成26年4月開設

教育と医療・ケアを一体化し、 具現化する教育者・保育者を養成する

四月より新設となる子ども教育学部・子ども教育学科は、小学校教諭一種、幼稚園教諭一種、保育士の免許を取得することができ、教師・保育士の養成を目的とした学部です（定員八十名）。新学部は、健康科学部看護学科と同様に宇品キャンパスに立地します。この学部は、こんにちの学校教育実践や保育実践に見られる現状の課題から設置に至りました。社会の変化にともない、発達障害が障害されている子どもや個性の強い子どもが、クラスに増えています。

そのような中で授業や保育を展開するには、ケアと教育・保育の両面の技量を身につけた専門家が必要です。学校や幼稚園、保育所（園）では、さまざまなニーズをかかえ、ケアと特別な支援（暴力・ネグレクト）、療育、病弱児など」の必要な子どもたちを理解し、授業やあそびを構想し、ケアの教育や保育ができる人材が必要なのです。本学科では、子どもたちや保護者に寄り添い共に育ち合い、発達を支援する人材を育成します。かけがえのない一人ひとりと、その一人ひとりが集まったクラスみんなを大切にしながら、子どもたちと「まなざし」で向かい合い、子どもたちの豊かな未来を創造できる力を培います。

学部・学科の特色

本学の建学の精神である「心技一体」、人間のいのちや尊厳、平和の理解を礎に生命の誕生から乳幼児期―児童期の子どもの心と身体の発達を理解し、保育・初等教育の専門性を修得します。

子どもの保育、教育に携わるものとして、他者へのいたわりやさしさのケアの精神をもち、特別な支援に関する正確な知識と支援の充実をはかり、質の高い子ども教育の担い手の育成を目指していきます。



ピアノ練習室



家庭科調理室

地域に開かれた子ども教育学部子ども教育学科

子ども教育学部子ども教育学科は、附属施設として、こどもケアセンター、ひろしま人間教育研究センターを併設します。こどもケアセンターでは、地域の子どもたちや保護者に寄り添いともに育ち合い、発達を支援していく場です。健康科学部とともに子どもの成長に関わっていくことにより、地域社会と一緒になって子どもの健やかな成長に貢献してまいりたいと考えています。

ひろしま人間教育研究センターは、教師、保育士としての専門性を研鑽し、研修する交流の場です。地域の学校教育や幼稚園、保育所に携わる先生方と学び合い交流し、教師として、保育士としての実践的な力量を培います。また、卒業後も母校で学び続ける教師や保育士として、地域社会への発展的な貢献に努力する資質を深めてまいりたいと考えています。

※お知らせ※

第2回の卒業証書学位記授与式が行われます

広島都市学園大学としての第2回の卒業証書学位記授与式が次のとおり挙行されます。

今回は、健康科学部看護学科の八十名が卒業予定となっています。

日時 三月二十四日（月）

十時開式

場所 アステールプラザ

大ホール

臨地実習を経て、看護研究の発表も終え、二月の国家試験の受験まで日夜勉学に励んできた

新年度総会について

保護者の会の新年度定期総会は、四月十九日（土）に開催の予定です。

平成二十六年度 入学式の実施

健康科学部の看護学科とリハビリテーション学科、及び、新設の子ども教育学部子ども教育学科の新入生が一堂に会し、平成二十六年度の入学式が次のとおり行われます。

当日は、午前が入学式で、午後は同会場で、全体オリエンテーションが予定されています。

日時 三月二十四日（月）

十時開式

場所 アステールプラザ

大ホール